



★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

【速報】 私たちの食に忍び寄るゲノム編集!!! ゲノム編集ヒラメ(高成長)の「届出」が受理されました！

2023年10月24日に厚労省に、新しいゲノム編集食品としてゲノム編集ヒラメが「届出」されました。

届出をした事業者は、すでにゲノム編集マダイ、ゲノム編集トラフグなどを開発／販売しているリージョナルフィッシュ社です。

このヒラメの届出で、日本国内で市場流通が可能となったゲノム編集食品は、高BAGAトマト（シシリアンルージュハイギャバ）、可食部増量マダイ、高成長トラフグ、ワキシートウモロコシ、高GABAトマト（中玉トマト）と、6品目になりました。

名称：高成長ヒラメ（8D系統）
レプチン受容体遺伝子欠損

すでに届出されているゲノム編集トラフグと同様の遺伝子操作が行われていると思われます。
食欲抑制因子の「レプチン」と結合するレプチン受容体遺伝子を欠損させることで、満腹中枢が刺激されないため、人為的に過食状態を引き起こす。
厚労省のサイトでは「上市未定」となっています。

2022年11月4日 「事前相談」資料を受理。

2023年10月23日 厚労省 遺伝子組換え食品等調査会（非公開）で「届出に該当する」と判断される。

10月24日 事前相談者に結果を連絡

10月24日 届出を受理

なお、現時点では「上市未定」となっているので、すぐに市場流通することはないかもしれません。

※報道では今後は農林水産省で生物多様性への影響などが確認されたあと、販売を目指すとのことです。

しかし、安心はできません。

現在、各地で陸上養殖施設の建設計画も進んでいるようです。

少しずつゲノム編集技術が広がっているという事を認識し、今後も動向を監視しながら調査していく必要があります。

※情報参照元:「ゲノム編集トマト苗 受け取らないで実行委員会」

2023年11月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！ ・11/3(金)千倉水産 お魚講習会@我孫子 ・11/11(土)青木農園援農交流会 ・11/18(土)歴史講座 ・11/29(水)定例理事会	・11/15(水)茨城県生協連理事会 ・11/19(日)アイデンティみらい×常総生協コラボイベント

※以下はNewsLetter2019074の記事の内容です。

○ゲノム編集と遺伝子組み換えはどう違う？

遺伝子組み換えは、特定の遺伝子のみを「組み込む」技術。ゲノム編集は、特定の遺伝子のみを「編集する」技術。

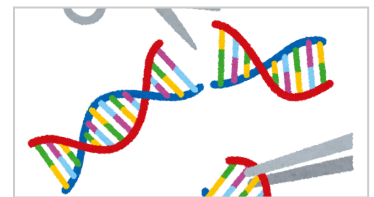
遺伝子組み換えとは、両親を丸ごと掛け合わせて交配を繰り返すのではなく、特定の遺伝子のみを組み込む技術です。また、全く類縁関係ではない遺伝子を組み込むという点も、従来の品種改良とは違っていています。自然界で発生しない現象を実現できるのが、遺伝子組み換え技術です。

生物が持つ全遺伝情報を「ゲノム」と言います。近年、多くの生物のゲノムが明らかにされています。重要な遺伝子が特定され、その働きなども分かってきています。その情報を利用するのがゲノム編集で、遺伝子を切ったり繋げたりするので「編集」と言われています。狙った性質の遺伝子だけを編集することができるため、優れた特徴を持つ品種に新たな性質をピンポイントで追加可能です。自然界でも起こりうる突然変異を意図的に起こさせるものとも言えます。

○どのようにして遺伝子を壊すのか？

ゲノム編集では、「CRISPR Cas 9（クリスパー・キャス・ナイン）」と呼ばれる手段が使われます。

これは壊す遺伝子への案内役であるガイドRNAとDNAを切断して遺伝子を壊すハサミの役割を果たす「制限酵素」が組み合わさったものです。この仕組みを利用すると簡単に目的の遺伝子を壊せます。



ゲノム編集では壊した遺伝子の代わりに新たな遺伝子を挿入することも可能です。ネズミの皮膚の遺伝子を壊し、人間の皮膚を作る遺伝子を挿入すれば、正確な組み換えが可能になります。

○消費者メリットを促す「ゲノム編集技術」

時間がたったり、手荒く扱ったりすると茶色く変色し、商品価値が落ちて廃棄されてしまうマッシュルームですが、ゲノム編集により「白いままのマッシュルーム」がアメリカで開発されています。



筑波大学では、トマトにおいて、一時的なストレス緩和や高血圧予防の成分として注目されているGABA(ギャバ)を多く蓄積させることに成功しています。他にも、完熟後の収穫でも長距離輸送に耐えられる「甘くて長持ちするトマト」や、「切っても涙の出ないタマネギ」、「毒のないジャガイモ」、収量アップを目指した「多収イネ」などの開発も進んでいます。

これらはいずれも、内閣府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の「次世代農林水産業創造技術」によるもので、農業のスマート化（省力化・高生産化）や、農林水産物の高付加価値化を目指すものとして研究開発が行われています。

農作物だけでなく、ゲノム編集の対象は動物にも及びます。養殖中の衝突死を防ぐ「おとなしいマグロ」や、筋肉量を増やした「肉厚のマダイ」、卵アレルギーの原因物質を抑えた「アレルギー対策卵」を産むニワトリなど、続々と開発が進んでいます。

ゲノム編集の基本は目的とする遺伝子の働きを壊す技術です。生命体は調和で成り立っています。体を大きくする遺伝子がある一方で、あまり大きくなり過ぎないように抑制する遺伝子

があります。大きくする遺伝子を壊すと、小さいままの動物が誕生しますが、中国ではすでにマイクロ豚がペットとして販売されています。逆に抑制する遺伝子を壊すと、成長が早く肉の多い魚や家畜が誕生します。これもすでに市場化が間近な状態にあります。

○ゲノム編集の問題点とは？

ゲノム編集技術は DNA を切断するという粗っぽい方法で、生命体の最も大事な遺伝子を壊します。壊してよい遺伝子などありません。生命の操作が拡大しています。

このままでは自然の調和が壊れてしまいます。さらに遺伝子を壊した際に、目的外の遺伝子を壊す「オフターゲット」が必ず起きます。それが重要な遺伝子を壊せば、その生命体にとって大きな影響が出るだけでなく、環境や食の安全にも影響してきます。さらにはゲノム編集した細胞と通常の細胞が入り乱れる「モザイク」も起きます。**これも環境や食の安全に影響が出かねない問題です。とても安全とは言えない技術です。**

米国では、2015 年から除草剤耐性ナタネが、2018 年からは高オレイン酸大豆が栽培・収穫され、流通を始めました。他にもさまざまなゲノム編集作物の研究・開発が進んでいます。**表示義務がない「ゲノム編集」。知らず知らずにゲノム編集技術を応用した作物やお肉が 私たちの食卓に忍び込んでこないように気を付けなければなりません。**

役員選任委員募集のお知らせ！組合員さんから委員を**3名**募集。ご応募お願いします！！

第26期役員選任委員募集公告

常総生活協同組合 理事会

○役員選任委員の募集期間：12月15日（金）まで

委員には以下3回、ご出席をお願いする予定です。

1月中旬：第1回役員選任委員会 ※委員会の日時は委員になる方と相談し決定

4月初旬：第2回役員選任委員会

6月中旬：第51回通常総代会 ※総代会の日程は1月末頃決定

○役員選任委員になるには以下の条件があります。 ※1～4すべてにあてはまる必要があります。

1. 常総生協に加入して1年以上
2. 総代経験者
3. 生協運営に興味がある方
4. 役員に立候補する予定がない方

※役員選任委員はその任期内に決定する新役員の候補者にはなれません。なお、現理事から選ばれた委員は理事の重任を妨げません。

-----キトリ-----

第26期役員選任委員申出書

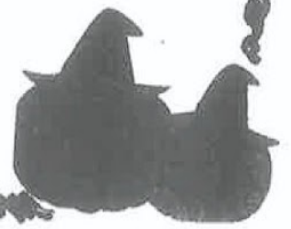
※締め切り：12/15（金）まで

コース名：_____ 組合員番号：_____ 名前：_____

生協加入歴：_____年 総代経験の有無： 経験あり ・ 経験なし ○をつけてください。

(2023. 白山登山後編)

あべchan.com 10



白山の山頂から少し下った所に室堂平がある。広く平坦で白山神社奥宮や山小屋がある。時間はお昼過ぎで大勢の人が休憩していた。下山する前に自分も行動食を食べよう。ザックを地面に降ろしてガサガサする。探し物は見つからない。見つけにくい物でもない。おにぎりであり、クミである。密室のザックからおにぎりとかクミが失踪した。神隠しじゃん。無いと思うと余計に食べたくなるのが人間。雨具とか防寒着とか引っ張り出す。そして最後に出てきたのがゴミ袋。あー……。全てをザックにしまう。さて、下山しますか。おにぎりとかクミ？ 小さい事は気にしない。昔の事だから忘れてたけど行動食は全て！。全て朝、シャトルバスを待つ間に完食してました。残念!! 食いしん坊 バンザイだ。まあ行動食は無いけど飲み物はきちんと管理しているから大丈夫。大丈夫なはずだったけど…。睡眠不足なのか熱中症なのか頭が痛くなる。コンロイチンが足りてないのか左膝が痛くなる。なんか状況が悪くなった。こんな時こそ気付け薬的な役割を果たす行動食は必要だなと思う。色々な痛みの中で痛感するのだった。そんな中、朝出会った少年とその両親が下から登ってきた。少年はもうストックを使っていなかった。少年もこちらに気付いたようで話し掛けてきた。「もう山頂まで行ったんですか?」「行ったけどが入って何も見えなかったよ」「やっぱりストックなくても全然大丈夫なんですわ!!」その言葉にハッとした。言うべきかどうするか迷ったが伝えられなかった。少年はストックなしで元気に登って行った。自分は行動食のストックなしでヘロヘロな状態。少年よストックなくなると全然大丈夫じゃないよ。その言葉を今日までストックしておきました。下山してから金沢駅近くのルトインホテルへ。この日は偶然にも花火大会。ホテルで「ひめくまぞく亭」の能登牛の弁当を食べながら打ち上げ花火を見つつ打ち上げたのでした。

完